

(様式第9)

島大医総第310号
平成2

厚生労働大臣 殿

開設者名 島根大学医学部附属病院
井川幹

島根大学医学部病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第10）
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第11）
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数 68.75人

（注）前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

→ 別紙参照（様式第12）

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績

→ 別紙参照（様式第13）

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	328人	8人	332.4人	看護補助者	45人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	17人	0人	17.0人	理学療法士	8人	臨床検査技師	32人
薬剤師	28人	0人	28.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他の	0人
助産師	14人	2人	15.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	516人	32人	538.0人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	1人	その他の技術員	32人
歯科衛生士	1人	1人	1.7人	歯科技工士	1人	事務職員	161人
管理栄養士	6人	1人	6.7人	診療放射線技師	27人	その他の職員	30人

（注）1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	392.3人	6.8人	399.1人
1日当たり平均外来患者数	906.4人	32.5人	938.9人
1日当たり平均調剤数	(入院) 424.4剤	(外来) 186.9剤	(合計) 611.3剤

（注）1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	心臓再同期療法機能つき植え込み型除細動器治療(CDT-D)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
心機能低下した心不全に対してCRTDの植込型治療により、心機能の改善、突然死の予防ができる。			
医療技術名	好塩基球活性化試験によるアレルギーの診断	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
即時型重症アレルギー疾患の患者において、原因抗原を用いた患者末梢好塩基球活性化試験による診断、原因抗原の確定を行っている。			
医療技術名	関節鏡視下膝靭帯再建術	取扱患者数	95人
当該医療技術の概要			
関節鏡(内視鏡)を用いた最小侵襲手術かつ、無輸血手術、無駆除手術を行い、早期リハビリテーション、早期社会復帰を可能にしている。			
医療技術名	人工股関節全置換術	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
クリーンルームで超清潔下に人工股関節置換術を行っている。			
医療技術名	脊髄誘発電位測定	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
手術中に脊髄誘発電位測定を行い、安全かつ有効な手術を可能にしている。			
医療技術名	顕微鏡視下手術	取扱患者数	53人
当該医療技術の概要			
脊椎外科・手の外科や腫瘍再建外科において、顕微鏡を用いた神経の剥離、微小細管・神経の縫合や組織移植を可能にしている。			
医療技術名	緑内障チューブシャント手術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要			
難治性緑内障に対し、緑内障ドレナージデバイスを移植し、眼圧下降を図る。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	46人	・膿疱性乾癥	3人
・多発性硬化症	28人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	26人	・原発性胆汁性肝硬変	13人
・全身性エリテマトーデス	106人	・重症急性胰炎	1人
・スモン	7人	・特発性大腿骨頭壞死症	18人
・再生不良性貧血	21人	・混合性結合組織病	29人
・サルコイドーシス	40人	・原発性免疫不全症候群	0人
・筋萎縮性側索硬化症	12人	・特発性間質性肺炎	13人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	89人	・網膜色素変性症	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	32人	・プリオント病	0人
・結節性動脈周囲炎	24人	・肺動脈性肺高血圧症	0人
・潰瘍性大腸炎	76人	・神経線維腫症	3人
・大動脈炎症候群	13人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	8人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	9人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	23人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	50人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	79人	・球脊髄性筋委縮症	1人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	7人
・アミロイドーシス	7人	・肥大型心筋症	1人
・後縫靭帯骨化症	13人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	3人	・ミトコンドリア病	0人
・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・ウェグナー肉芽腫症	5人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	11人	・黄色靭帯骨化症	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	47人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・顎顔面補綴	・
・人工括約筋を用いた尿失禁手術	・
・マイクロ波子宮内膜アブレーション	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<p>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</p>
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	17回
部 檢 の 状 況	部検症例数 20 例 / 部検率 7.10%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

† 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨形成低下に伴う骨粗鬆症の治療法の開発を目指した骨形成シグナルの解明	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ホルモン受容機構異常にに関する調査研究	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	1,800,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
骨・血管連関の解明を目指したLDLコレステロールが骨に及ぼす影響の検討	山内 美香	内分泌代謝内科	1,950,000	補 文部科学省科学研究費補助金
終末糖化物質受容体と骨血管連関ー骨質改善と動脈硬化防止を目指した病態生理の解明ー	山本 昌弘	内分泌代謝内科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金
2型糖尿病における骨脆弱性とWnt/B-catenin系骨形成抑制因子の関連性の検討	山本 昌弘	内分泌代謝内科	800,000	補 日本骨粗鬆症学会
multi-modality全周性センサーアレイの開発と食道運動能の解析	木下 芳一	消化器内科	650,000	補 文部科学省科学研究費補助金
好酸球性食道炎／好酸球性胃腸炎の疾患概念確立と治療指針作成のための臨床研究	木下 芳一	消化器内科	1,040,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
制御性白細胞による腸管免疫抑制機構とその破綻による腸炎発症機序の解明	石原 優治	消化器内科	2,470,000	補 文部科学省科学研究費補助金
糖尿病患者におけるカプサイシン感受性神経の食道運動障害に与える影響についての検討	古田 賢司	消化器内科	1,580,000	補 文部科学省科学研究費補助金
バレット食道形成過程におけるNotchシグナルの機能解析:Cdx2との相互作用	石村 典久	消化器内科	2,210,000	補 文部科学省科学研究費補助金
インスレーターを介した糖尿病発症機構の解明	三代 剛	消化器内科	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線化評価法の開発と臨床的有用性の確立	佐藤 秀一	肝臓内科	200,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
心筋梗塞データベース・脳卒中データベースを用いた救急搬送情報と診療情報の連続化のための研究	小林 祥泰	病院長	17,399,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
認知症ケアのための地域医療支援ICTシステムの開発	山口 修平	神経内科	6,667,000	委 総務省中国総合通信局
非小細胞肺癌のファーストライン治療の個別化	磯部 咲	呼吸器・化学療法内科	780,000	補 文部科学省科学研究費補助金
突発性肺線維症急性増悪及び薬剤性肺障害に關する日本人特異的遺伝要素に関する研究	須谷 晃尚	呼吸器・化学療法内科	250,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
ω -5グリジン欠失小麦粉を用いた低アレルゲン化グルテンの作製と小麦アレルギー患者への臨床応用	森田 栄伸	皮膚科	3,431,000	補 農林水産省
重症多型渗出性紅斑に関する調査研究	森田 栄伸	皮膚科	2,500,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
難培養性細菌と真菌を含む皮膚微生物叢の分子生物学的手法を用いた網羅的解析法の確立	出来尾 格	皮膚科	1,040,000	補 文部科学省科学研究費補助金
アレルギー疾患のダイナミックな変化とその背景因子の横断的解析による医療経済の改善効果に関する調査研究	金子 栄	皮膚科	1,500,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
質量分析計を利用した血中小麦タンパク質の網羅的分析と体内動態の解析	高橋 仁	皮膚科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金
腸管上皮細胞のタイトジャンクションを介した小麦抗原吸収機序の解明	千賀 祐子	皮膚科	1,820,000	補 文部科学省科学研究費補助金
小児の急性脳症と有機酸・脂肪酸代謝障害の関連に関する研究	山口 清次	小児科	3,250,000	補 文部科学省科学研究費補助金
タンデムマスと培養細胞を用いる小児薬剤の安全性検証法の開発	山口 清次	小児科	1,820,000	補 文部科学省科学研究費補助金
タンデムマス導入による新生児マスクリーニング体制の整備と質的向上に関する研究	山口 清次	小児科	17,280,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	山口 清次	小児科	1,500,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
先天性ケント体代謝異常症(HMG-CoA 合成酵素欠損症、HMG-CoA リアーゼ欠損症、 β -ケトチオラーゼ欠損症、SCOT欠損症)の発症形態と患者数の把握、診断治療指針に関する研究	山口 清次	小児科	1,000,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ・テクノロジーを用いたプロビオイン酸血症の新規治療法の開発	山口 清次	小児科	700,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
乳幼児突然死症候群・乳幼児突然性危急事態における代謝異常にに関する研究	山口 清次	小児科	450,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
Survivinを標的とした活性型Flt3陽性造血腫瘍に対する新たな治療戦略開発	福田 誠司	小児科	3,250,000	補 文部科学省科学研究費補助金
小児に増加している脚気等ビタミン欠乏の実態と質量分析による病勢診断の確立	長谷川有紀	小児科	1,040,000	補 文部科学省科学研究費補助金
セレウス菌感染によるライ様症候群の臨床像および病態に関する研究	小林 弘典	小児科	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金
未梢リンパ球とタンデムマスを用いた簡単な脂肪酸代謝異常症酵素検断法の確立	虫本 雄一	小児科	1,560,000	補 文部科学省科学研究費補助金
高度リンパ節転移を伴う進行胃癌の根治を目指した術前化学療法+拡大手術法の確立	平原 典幸	消化器外科	300,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
高度低体温により誘導される蛋白質発現・リン酸化の網羅的プロテオミクス解析	織田 稔二	心臓血管外科	4,280,000	補 文部科学省科学研究費補助金
全血液成分を対象とするプロテオミクスによる脳低体温法に関する網羅的研究	織田 稔二	心臓血管外科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金
半月板損傷治療をもたらす生体接着剤とプラズマ照射法の開発	内尾 祐司	整形外科	1,690,000	補 文部科学省科学研究費補助金
生体接着剤を用いた難治性半月板損傷の治療	内尾 祐司	整形外科	1,700,000	委 独立行政法人科学技術振興機構
アデノシン三磷酸代謝に注目した変形性膝関節症の治療と進行度の予測	熊橋 伸之	整形外科	1,430,000	補 文部科学省科学研究費補助金
脳腫瘍幹細胞およびニッセイにおけるキヌレン経路の阻害効果	宮崎 健史	脳神経外科	2,210,000	補 文部科学省科学研究費補助金
高悪性度筋層非湿潤癌に対する經尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	井川 幹夫	泌尿器科	150,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
アカシジアの病態解明に関する「覚醒時」ミオクローヌスの電気生理学的研究	堀口 淳	精神科神経科	1,430,000	補 文部科学省科学研究費補助金
治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	堀口 淳	精神科神経科	60,528,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
難治性統合失調症における塩酸ミノサイクリンの有効性とその機序に関する研究	宮岡 剛	精神科神経科	2,210,000	補 文部科学省科学研究費補助金
難治性Type II子宮内膜癌の発癌機構解明とその臨床応用を目指した基礎的検討	宮崎 康二	産科婦人科	2,210,000	補 文部科学省科学研究費補助金
卵巣癌の染色体不安定性機構解明及び不安定性誘導因子を標的とした治療法の開発	中山 健太郎	産科婦人科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金
卵巣癌の分子生物学的特性を利用した新規治療法の開発	中山 健太郎	産科婦人科	250,000	補 日本産科婦人科学会
GnRH/バルス頻度依存性特異的ゴナドトロピン発現機構の解明	金崎 春彦	産科婦人科	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金
LH, FSH合成・分泌制御機構の解明	折出 亜希	産科婦人科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金
卵巣明細胞腺癌の新規癌抑制遺伝子ARID1Aの変異と抗癌剤耐性機構との関連	石川 雅子	産科婦人科	1,820,000	補 文部科学省科学研究費補助金 (小計50)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
なぜ舌下免疫療法は有効なのか?—マウスマルクスモデルでの免疫学的解析—	川内 秀之	耳鼻咽喉科	1,690,000	補 文部科学省科学研究費補助金
好酸球性副鼻腔炎の診断基準作成と網羅的解析に関する研究	川内 秀之	耳鼻咽喉科	400,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
スギ花粉症治療薬候補となるコメの開発	川内 秀之	耳鼻咽喉科	5,000,000	委 アグリ・ヘルス実用化研究促進プロジェクト
アレルギー性鼻炎におけるCD3OLの役割	瀧脇 貴史	耳鼻咽喉科	2,210,000	補 文部科学省科学研究費補助金
DNA塩基除去修復欠損マウスを用いた網膜光障害の分子病態解明	大平 明弘	眼科	2,730,000	補 文部科学省科学研究費補助金
光誘導性網膜防御機構の波長依存性と分子ネットワークについての網羅的解析	谷戸 正樹	眼科	1,040,000	補 文部科学省科学研究費補助金
がん医療の均てん化に資する放射線治療の推進及び品質管理に係る研究	内田 信重	放射線治療科	1,500,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
μオピオイドの脊髄鎮痛と耐性における受容体細胞内動態の役割を明らかにする	齊藤 洋司	麻酔科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金
μオピオイドによる痒みの機序解明とガバペンチンの鎮痒効果	今町 憲貴	麻酔科	1,950,000	補 文部科学省科学研究費補助金
脊髄における5HTレセプターの疼痛修飾機能の役割を明らかにする	二階 哲朗	麻酔科	910,000	補 文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた腫瘍血管新生抑制による純国産型遺伝子治療法の開発	石橋 浩晃	歯科口腔外科	3,120,000	補 文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた国産戦略による変形性関節症への新規遺伝子治療法の展開	石橋 浩晃	歯科口腔外科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた血管新生抑制による新規の癌遺伝子治療法の開発と応用	辰巳 香澄	歯科口腔外科	910,000	補 文部科学省科学研究費補助金
パクテリアルセルロースを用いた新規歯科治療材「ナタデココポイント」の開発	吉野 織	歯科口腔外科	3,900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
手術中洗浄細胞診検体からの癌細胞検出—遺伝子増幅法（OSNA法）を用いて—	荒木 剛	検査部	600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
多焦点パーチャルスライドの血液形態精度管理への応用とその有用性の検討	三島 清司	検査部	700,000	補 黒住医学研究振興財団
NUP98-HOX融合遺伝子を有する白血病における発症機序及び標的分子の解明	竹谷 健	輸血部	910,000	補 文部科学省科学研究費補助金
重症低ホスファターゼ症に対する骨髓移植併用同種間葉系幹細胞移植	竹谷 健	輸血部	37,674,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
重度先天性骨代謝疾患に対する遺伝子改変間葉系幹細胞移植治療法の開発	竹谷 健	輸血部	10,000,000	委 文部科学省再生医療の実現化プロジェクト
逆流胆汁酸組成からみたバレット食道の発生・発癌機序解明と治療法の検討	天野 純二	光学医療診療部	3,770,000	補 文部科学省科学研究費補助金
日本人糖尿病合併冠動脈疾患患者において積極的臍窓低下・降圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究	石橋 豊	卒後臨床研究センター	3,000,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
オキシコンドリによるμオピオイド受容体細胞内動態と鎮痛効果の連関の解明	橋本 龍也	緩和ケアセンター	850,000	補 文部科学省科学研究費補助金
インシデントレポートによるリスクコスト算出の精緻化と自動化に関する研究	廣瀬 昌博	病院医学教育センター	3,380,000	補 文部科学省科学研究費補助金
医療安全文化醸成度の可視的指標の開発と検証に関する研究	廣瀬 昌博	病院医学教育センター	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金
医療安全管理体制の整備に関する研究—認定病院を対象とした医療安全管理体制の実態と評価結果の関連に関する検証—	廣瀬 昌博	病院医学教育センター	1,400,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
βラクタム系抗生物質の個別化投与の有用性に関する臨床研究	石原 慎之	薬剤部	400,000	補 文部科学省科学研究費補助金

(小計26)

計76

(注) 1 地方公共団体又は公募法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発又は評価に資するものと判断されるものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Bone and Mineral Metabolism 29: 626-632, 2011(平成23年9月)	Quantitative ultrasound and vertebral fractures in patients with type 2 diabetes.	Yamaguchi T	内分泌代謝内科
Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism 97: 1277-1284, 2012 (平成24年2月)	Decreased PTH levels accompanied by low bone formation are associated with vertebral fractures in postmenopausal women with type 2 diabetes.	Yamamoto M	内分泌代謝内科
Osteoporosis International 22 (4) : 1191-1198, 2011 (平成23年4月)	Serum Insulin-like growth factor-I is a marker for assessing the severity of vertebral fractures in postmenopausal women with type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I	内分泌代謝内科
Clinical Endocrinology 74 (4) : 467-472, 2011 (平成23年4月)	Asymmetric dimethylarginine as a risk factor for cardiovascular disease in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I	内分泌代謝内科
Annals of Hematology 90 (11) : 1293-1297, 2011 (平成23年11月)	Asian variant of intravascular large B-cell lymphoma causes patients to frequently develop the syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion.	Onishi C, et al.	血液内科
Gut (2011.05)	Roles of Kruppel-like factor 4 in oesophageal epithelial cells in Barrett's epithelium development	Kazumori H, Ishihara S, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition (2011.07)	Administration of PPAR β / δ agonist reduces copper-induced liver damage in mice: possible implications in clinical practice	Sanchez-Siles AA, Ishimura, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology(2011.04)	Clinical significance of the highly sensitive fucosylated fraction of α -fetoprotein in patients with chronic liver disease	Hanaoka T, Sato S, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Esophagus (2011.08)	Effects of nizatidine and itopride hydrochloride on esophageal motor function	Koshino K, Adachi K, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestive and Liver Disease(2011.09)	Impact of the composition of gastric reflux bile acids on Barrett's oesophagus	Takahashi Y, Amano Y, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Clinical Gastroenterology(2011.09)	Fatty acid synthase expression in Barrett's esophagus: implications for carcinogenesis	Ishimura N, Amano Y, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestive and Liver Disease(2011.07)	Gastric screening examination using PillCam ESO 2: A pilot study	Amano Y, Yuki T, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology (2011.06)	Different sex-related influences of eating habits on the prevalence of reflux esophagitis in Japanese	Mizuta A, Adachi K, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Internal Medicine (2011.11)	Relationship between kyphosis and Barrett's esophagus in Japanese patients	Uno G, Amano Y, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
BMC Reserch Notes(2011.11)	Interobserver variation in the endoscopic diagnosis of gastroduodenal ulcer scars: implications for clinical management of NSAIDs users	Amano Y, Uno G, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Annals of the New York Academy of Sciences(2011.09)	Barrett's esophagus: endoscopic diagnosis	Ishimura N, Amano Y, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
International Journal of Molecular Medicine(2012.03)	Intrarectal administration of milk fat globule epidermal growth factor-8 protein ameliorates murine experimental colitis	Otani A, Ishihara S, 他	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases (2011)	Age-related changes of white matter lesions, hippocampal atrophy and cerebral microbleeds in healthy subjects without major cerebrovascular risk factors	Chowdhury MH,	神経内科
Cerebrovascular Diseases (2011)	Post-stroke apathy and hypoperfusion in basal ganglia:SPECT study	Onoda K,	神経内科
新薬と臨床(2011)	急性期虚血性脳血管障害へのクロビドグレルの使用経験	山口修平	神経内科
脳卒中(2011)	脳梗塞後のアパシーに対するシロスタゾールの効果	豊田元哉	神経内科
Proceeding of the 2011 IEEE/ICME International Conference on Complex Medical Engineering(2011)	Association of impulsivity with feedback-related negativity during gambling task	Yamaguchi S,	神経内科
日本放射線技術学会雑誌(2011)	123I-IMP Graph Plot法検査時間短縮プロトコールの検討	山本泰司	神経内科
Exp Brain Res(2011)	Inter-individual discount factor differences in reward prediction are topographically associated with caudate activation	Onoda K	神経内科
Stroke(2011)	Microbleeds are associated with subsequent hemorrhagic and ischemic stroke in healthy elderly individuals	Bokura H,	神経内科
言語聴覚研究(2011)	伝導失語を呈した原発性進行性失語の1例	坂根理絵子	神経内科
Cerebrovascular Diseases(2011)	Contribution of Cystatin C gene polymorphisms to cerebral white matter lesions	Mitaki S	神経内科
Cesk Slov Neurol N(2011)	A case of Creutzfeldt-Jakob disease showing decreased cerebral blood flow on Tc-99m ECD SPECT at an early stage	Suzuki Y	神経内科
日本東洋医学雑誌(2011)	八味地黄丸が有効であった多系統萎縮症の一例	松井龍吉	神経内科
Nervenheilkunde (German)(2011)	Epileptische Anfälle und Aphasie hervorgerufen durch Neurosyphilis (Seizure and aphasia associated with neurosyphilis)	Kohno N	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Shimane Journal of Medical Science(2011)	A case of meningeal carcinomatosis occurred with a 17-year disease-free interval after initial therapies for breast cancer	Saika R	神経内科
FEBS Journal(2011)	Lysophosphatidylcholine modulates amyloid beta peptide fibrillation process	Sheikh AM	神経内科
Neurobiology of Disease(2011)	Mesenchymal stem cell transplantation modulates neuroinflammation in focal cerebral ischemia: contribution of fractalkine and IL-5	Sheikh AM	神経内科
Neuroscience Letters(2011)	Cystatin C induces apoptosis and tyrosine hydroxylase gene expression through JNK-dependent pathway in neuronal cells	Liang XY	神経内科
医学検査(2011)	当院における白血球分類目視再検基準の検討 日臨技プロジェクト研究による統一した末梢血液像の再検基準を用いて	庄野智子	神経内科
臨床病理(2011)	多重焦点バーチャルソフトを用いた尿沈渣鏡検技術の施設間差是正への取り組み	松田親史	神経内科
感染症・学術誌(2011)	S領域の変異株によるHBs抗原(EIA法)偽陰性の1例とHBs抗原関連試験の反応性	松田親史	神経内科
医学検査(2011)	US-3100 R plusとU-SCANNER IIを用いた一般検査の運用と効果	陶山岸二	神経内科
島根医学(2011)	睡眠時無呼吸症候群の治療によりリハビリテーションが円滑に行えた脳梗塞の1例	武田文徳	神経内科
Journal of the American Geriatrics Society(2011)	Open label trial to evaluate the efficacy and safety of YOKUKANSAN, a traditional asian medicine, in dementia with Lewy bodies	Iwasaki K	神経内科
日呼吸会誌	羽毛布団縫製工場勤務により発症した急性過敏性肺炎の一例	西川恵美子, 島岡康幸, 津端由佳里, 大江美紀, 神田響, 碇部威	呼吸器・化学療法内科
Geriatr Gerontol Int	A retrospective analysis comparing the safety and efficacy of chemotherapy in elderly and non-elderly non-small-cell lung cancer patients.	Tsubata Y, Honda T, Okimoto T, Miura K, Karino F, Iwamoto S, Suzuki T, Hamaguchi S, Kanda H, Sutani A, Kuraki T, Isobe T	呼吸器・化学療法内科
International Journal of Dermatology(2012 May)	Missense mutation at the helix termination region in the ZB domain of keratin 14 in a Japanese family with epidermolysis bullosa simplex, generalized, other.	Kaneko Sakae	皮膚科
Allergology International (2012 May)	Prevalence of wheat allergy in Japanese adults.	Morita Eishin	皮膚科
Journal of Medical Microbiology(2012 Jan)	Genetic diversity of Propionibacterium acnes strains isolated from human skin in Japan and comparison with their distribution in Europe.	Dekio Itaru	皮膚科
Journal of Allergy and Clinical Immunology (2012 May)	CD203c expression-based basophil activation test for diagnosis of wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis.	Chiruki Yuko	皮膚科
Pediatrics International 53(3): 408-411(2011年6月)	Adenovirus serotype 31 infection in a newborn girl and review of the literature	Fukuda S	小児科
ビタミン 8(1): 32-36, 2012(2012年1月)	GC/MS有機酸分析で発見される小児の後天性ビタミン欠乏症:ビタミンB1欠乏症とビオチン欠乏症	山口清次	小児科
World Journal of Surgical Oncology, 9(1):55(2011年5月20日)	Reconstruction of the esophagojejunostomy by double stapling method using EEATM OrVilTM in laparoscopic otoal gastrectomy and proximal gastrectomy	Noriyuki Hirahara	消化器外科
Anticancer Research, 31:2733-2738(2011年7月)	Protein-bound Polysaccharide-K (PSK) induces apoptosis and inhibits proliferation of promyelomonocytic leukemic HL-60 cells	Noriyuki Hirahara	消化器外科
Breast Cancer Research and Treatment(2011年12月)	Antitumor effects of cytoplasmic delivery of an innate adjuvant receptor ligand, poly(I:C), on human breast cancer	Toko Inao	乳腺外科
臨牀と研究(2011年5月)	臨床講義 冠動脈バイパス術:術式・適応の歴史的変遷	織田嶺二	循環器・呼吸器外科
胸部外科 (2011年8月)	まいとくにくく 肋間筋弁作成法(図説)	岸本晃司	循環器・呼吸器外科
胸部外科 (2012年2月)	画像診断 Q&A	岸本晃司	循環器・呼吸器外科
Clinical Biomechanics (2011)	Optimum suture material for locking technique in tendon repair: Effects of suture friction in mobilization.	Yamagami N	整形外科
Clinical Orthopaedics and Related Research(2011)	Increased antibiotic release from a bone cement containing bacterial cellulose.	Mori R	整形外科
The Knee(2011)	Correlation of changes in pain intensity with synovial fluid adenosine triphosphate levels after treatment of patients with osteoarthritis of the knee with high-molecular-weight hyaluronic acid.	Kumahashi N	整形外科
The Journal of Foot & Ankle Surgery(2011)	Nonunion in Proximal Phalanx of Great Toe Treated by Grafting with Precisely Processed Autologous Bone Peg.	Imade S	整形外科
Current Orthopaedic Practice (2011)	Olecranon stress fracture in an adult baseball pitcher: a case report.	Imade S	整形外科
Foot and Ankle International (2011)	Strong tendon repair using side-locking loop suture(SLLS) technique for traumatic disruption of tibialis anterior tendon and extensor hallucis longus tendon enables early rehabilitation after surgery.	Imade S	整形外科
別冊整形外科(2011)	膝蓋骨骨折に対するポリエチレン編糸を用いた小皮切骨接合術	四本忠彦	整形外科
整形外科臨床パーソナリティ 下肢のスポーツ外傷と障害(2011)	スポーツ選手の足部痛、5. 主な疾患の診療の進め方。	山上信生	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
膝関節の手術(2011)	前十字韌帯脛骨付着部剥離骨折修復固定術。	内尾祐司	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌	外来におけるロコモティブシンドromeと運動器不安定症のスクリーニング。	河野通快	整形外科
整形外科看護2011年	変形性膝関節症。	馬庭壯吉	整形外科
CLINICIAN(58)2011	変形性膝関節症に対する関節鏡視下手術。	内尾祐司	整形外科
Hip Joint 37(2011)	Pincer femoroacetabular impingementに対して大腿骨外反骨切り術を施行した一例。	門脇俊	整形外科
PROGRESS IN MEDICIN(H23.11.10)	認知症以外の対象に対する抑肝散の臨床応用(第1報) —第一線の臨床現場における投与実態—	堀口淳 他	精神科神経科
Psychiatry and Clinical Neurosciences(H24年2月)	Augmentation with ramelteon to achieve remission in geriatric major depression	古屋智英	精神科神経科
総合臨床 60巻 増刊号「日常診療でよくみる症状・病態」(2011年)	女性生殖器の異常 無月経	金崎春彦	産婦人科
Hormone Frontier in Gynecology 18(2011年)	プロラクチンの分泌・合成調節のメカニズム	金崎春彦	産婦人科
現代産婦人科 第60巻 No1(2011年)	当院で開始したTension-free vaginal mesh (TVM)手術症例の検討	金崎春彦	産婦人科
Hormone Frontier in Gynecology 18(2011年)	卵子成熟とゴナドトロビン	金崎春彦	産婦人科
Journal of Microwave Surgery 2011(2011年)	過多月経に対する外科治療について～マイクロ波子宫内膜アブレーションMEA(microwave endometrial ablation)導入後の検討～	中山 健太郎	産婦人科
臨床婦人科産科 2011(2011年)	安価な材料で作成したTissue Microarray: TMAを用いた研究の効率化	飯田幸司	産婦人科
癌と化学療法 38(2011年)	広汎子宫全摘術後のCCRT直後より脳転移を含む多臓器転移をきたし、初診後4ヶ月で死亡した子宫頸部腺扁平上皮癌Ⅳ期の一例	石川雅子	産婦人科
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 26,2(2011年)	術前画像診断でガーゼオーマが疑われ腹腔鏡下手術を施行し、後腹膜神経鞘腫と判明した1例	中山健太郎	産婦人科
癌と化学療法 2011(2011年)	2つの異なる化学療法後の化学放射線同時併用療法により著効が得られた子宮頸癌IV期の一例	石川雅子	産婦人科
現代産婦人科 2011(2011年)	約13kgの巨大卵巣腫瘍の腹腔鏡手術経験	中山健太郎	産婦人科
Biology of Reproduction 84(2011年)	Induction of Dual Specificity Phosphatase 1 (DUSP1) by Pulsatile Gonadotropin-Releasing Hormone Stimulation and the Role of Gonadotropin Subunit Expression.	Purwana IN	産婦人科
Regulatory Peptides 167(2011年)	Possible Involvement of PACAP and PACAP type I Receptor in GnRH-Induced FSH α -Subunit Gene Expression.	Kanasaki H	産婦人科
The Open Neuroendocrinology Journal, 4(2011年)	Paracrine control of gonadotrophs by somatolactotrophs through TRH-induced follistatin production.	Kanasaki H	産婦人科
Molecular and Cellular Endocrinology 339(2011年)	Stimulatory Effect of Pituitary Adenylate-Cyclase Activating Polypeptide (PACAP) and its PACAP Type I Receptor (PAC1R) on Prolactin Synthesis in Rat Pituitary Somatolactotroph GH3 Cells.	Mijiddorj T	産婦人科
Urogynaecologia International Journal 25(2011年)	Comparison of vaginal hysterectomy and tension-free vaginal mesh surgery for pelvic organ prolapse: Review of the first 20 operations performed by a first-time surgeon.	Kanasaki H	産婦人科
Biochemical and Biophysical Research Communications 410(2011年)	Expression of the Pituitary Adenylate Cyclase-Activating Polypeptide (PACAP) Type I Receptor (PAC1R) Potentiates the Effects of GnRH on Gonadotropin Subunit Gene Expression.	Purwana IN	産婦人科
Journal of Medical Case Reports, 5(2011年)	Secondary anenorrhea in a patient with spinocerebellar degeneration treated with thyrotropin-releasing hormone (TRH): a case report and in vitro analysis.	Kanasaki H	産婦人科
Shimane Journal of Medical Science 28(2011年)	Is it Possible to Predict the Onset of Side Effects in Patients Treated with Subcutaneous Buserelin?	Kanasaki H	産婦人科
Br J Cancer, 2011 Jul 26(2011年7月24日)	EGFR gene amplification is related to adverse clinical outcomes in cervical squamous cell carcinoma, making the EGFR pathway a novel therapeutic target.	Iida K	産婦人科
Tumour Biol. 2011 Aug;32(2011年4月14日)	MKK4 acts as a potential tumor suppressor in ovarian cancer.	Yeasmin S	産婦人科
Clin Exp Obstet Gynecol.(2011年)	A comparative study between microwave endometrial ablation and conventional surgical procedures for treatment of menorrhagia.	Nakayama K	産婦人科
Gai To Kagaku Ryoho(2011年)	A case of postoperative rapid brain metastasis originating from stage II a cervical adenosquamous cell carcinoma	Ishikawa M	産婦人科
Cancer. (2011年12月2日)	Prognostic and therapeutic impact of the chromosome 20q13.2 ZNF217 locus amplification in ovarian clear cell carcinoma.	Rahman MT	産婦人科
Mod Pathol. 2011(2011年5月24日)	Amplification of the ch19p13.2 NACC1 locus in ovarian high-grade serous carcinoma.	Shih IeM, Nakayama K	産婦人科
kagawa J obstet gynecol vol.13,No.1(2011年9月)	STICを用いた出生前診断について	青木昭和	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
British Journal of Cancer(2011年)	EGFR gene amplification is related to adverse clinical outcomes in cervical squamous cell carcinoma, making the EGFR pathway a novel therapeutic target.	K.lida	産婦人科
Arch Gynecol Obstet. 2011 May;283(5):1065–8. Epub 2010 May 13.	Microwave endometrial ablation is a highly efficacious way to emergently control life-threatening uterine hemorrhage.	Nakayama K	産婦人科
日本産科婦人科学会誌、63、2118－2129、2011。	卵巣癌の分子生物学的特性を利用した新規治療法の開発	中山健太郎	産婦人科
日本気管食道科学会会報(2011年4月10日)	甲状腺乳頭癌の頸部リンパ節転移についての臨床的検討	森倉一朗	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会会報(2011年4月10日)	下咽頭重複癌症例のマネージメント-診断、治療、予後-	川内秀之	耳鼻咽喉科
European Journal of Immunology(2011 Aug 30)	The central role of CD30L/CD30 interactions in allergic rhinitis pathogenesis in mice	Takafumi Fuchiwaki	耳鼻咽喉科
Shimane Journal of Medical Science(28, 2)(Feb 2012)	Removal of Ectopic Thyroid : A Case Report	Ichiro Morikura	耳鼻咽喉科
診療と新薬(2011年9月28日)	季節性アレルギー性鼻炎(花粉症)治療におけるフェキソフェナジン塩酸塩の有用性	川内秀之	耳鼻咽喉科
ENTONI(2011年11月15日)	舌良性腫瘍	川内秀之	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科(2011年4月30日)	4. 抗真菌薬の使い方	川内秀之	耳鼻咽喉科
扁桃周囲炎・扁桃周囲膿瘍(2011年7月25日)	5. 扁桃周囲炎・扁桃周囲膿瘍	川内秀之	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx(2012 Mar 6)	Examination, diagnosis and classification for Japanese allergic rhinitis: Japanese guideline	Kawauchi H	耳鼻咽喉科
Adv Otorhinolaryngol(2011 Aug 18)	Short review on sublingual immunotherapy for patients with allergic rhinitis: from bench to bedside	Kawauchi H	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx(2011 Jun 1)	Efficacy of combined treatment with S-carboxymethylcysteine (carbocisteine) and clarithromycin in chronic rhinosinusitis patients without nasal polyp or with small nasal polyp	Kawauchi H	耳鼻咽喉科
Japanese journal of Ophthalmology 56(1): 85-90(Jan. 2012)	Measurements of transmission spectrums and estimation of retinal blue-light irradiance values of currently available clear and yellow-tinted intraocular lenses	Masaki Tanito	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science52(11): 7944-7948(Oct. 2011)	Topical Dexamethasone-Cyclodextrin Microparticle Eye Drops for Diabetic Macular Edema	Masaki Tanito	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science53(1):241-2478(Jan. 2012)	Multiplex cytokine analysis of aqueous humor in eyes with primary open-angle glaucoma, exfoliation glaucoma, and cataract	Yasuyuki Takai	眼科
Molecular Vision17: 3309-3313(Dec.17, 2011)	Analysis of LOXL1 gene variants in Japanese patients with branch retinal vein occlusion	Katsunori Hara	眼科
Acta Ophthalmologica90(2): 158-160(Feb. 2012)	Retinal nerve fiber layer defects associated with cotton-wool spots in patients with interferon retinopathy	Katsunori Hara	眼科
眼科臨床紀要5(3):243-247(2012年3月)	弱視と斜視を伴い両児が異なる経過をとる双生児3組	太根ゆさ	眼科
Int J Radiation Oncology Biol Phys, 82(2):626-634(2012)	Multi-Institutional Analysis of Solitary Extramedullary Plasmacytoma of The Head and Neck Treated With Curative Radiotherapy.	内田伸恵	放射線治療科
Shimane Journal of Medical Science, 28(1):27-34(2011)	Distortion of Magnetic Resonance Images and Treatment Planning for Stereotactic Radiosurgery.	池田 新	放射線治療科
Shimane Journal of Medical Science, 28(2):107-112(2012)	A Case of Plummer Disease Treated with Radioiodine Therapy.	池田 新	放射線治療科
Anesthesia & Analgesia (2012年1月)	Intravenous Infusion of Remifentanil Induces Transient Withdrawal Hyperalgesia Depending on Administration Duration in Rats	Ishida R	麻酔科
Oral Medicine & Pathology, 15:91-94,2011.	Chronic focal sclerosing osteomyelitis accompanied with bony mass protrusion into the maxillary sinus	吉野 綾	歯科口腔外科
日本口腔顎面技工研究会会誌,11(1):12,2011	Nobel GuideTMを用いたAll-on-4治療における技工操作の問題点と対応策	園山 潤	歯科口腔外科
International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery,40:419-426,2011	FAP-1 and NF-κB expressions in oral squamous cell carcinoma as potential markers for chemoradio sensitivity and prognosis.	成相義樹	歯科口腔外科
日本歯科麻酔学会誌39(2):190-191,2011	Osler-Weber-Rendu病患者の両側下頸枝矢状分割術の全身麻酔経験。	市山友子	歯科口腔外科
日臨細胞島根県会誌,22:14-18,2011	核異型度解析による舌癌の頸部リンパ節転移の予測～細胞診標本への応用～	狩野正明	歯科口腔外科
日臨細胞島根県会誌,22:29-32,2011	細胞診で粘表皮癌を思わせた口腔扁平上皮癌の一例	辰巳博人	歯科口腔外科
Disease Markers(平成23年11月)	Effects of six functional SNPs on the urinary 8-isoprostanate level in a general population; Shimane COHRE study	Suyama Y	検査部
島根医学検査(平成23年5月10日)	バーキンソン病の病因とアストロサイトの神經保護作用	塩田由利	検査部
島根医学検査(平成23年5月10日)	心臓超音波検査の描出ポイントとピットフォールーうまく見えないときどうする？～	新田江里	検査部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
島根医学検査(平成23年5月10日)	ミュータスワローi30によるAFP-L3分画比率測定の検討および臨床的有用性	竹内志津枝	検査部
島根医学検査(平成23年5月10日)	CS2100iを用いたラテックステストKM Dダイマー試薬の基礎的検討	吉野 功	検査部
島根医学検査(平成23年5月10日)	BCプレートを用いた多剤耐性線膿菌に対する抗菌薬併用効果の検討	柳楽 権	検査部
島根医学検査(平成23年5月10日)	消化器がん検診と尿中Helicobacter pylori抗体検出率	馬庭恭平	検査部
島根医学検査(平成23年5月10日)	プロカルシトニンの有用性の検討	馬庭恭平	検査部
島根医学検査(平成23年5月10日)	便中ヘモグロビン検査の精度管理に関する検討	松田親史	検査部
臨床病理(平成23年6月10日)	肝・腎血管筋脂肪腫と肺リンパ脈管筋腫を合併した結節性硬化症の1例	石飛文規	検査部
日本検査血液学会雑誌(平成23年11月30日)	好中球アルカリフォスファターゼ染色	三島清司	検査部
臨床病理(平成24年1月10日)	多発性骨髓腫とKL-6の関連性	松田親史	検査部
医学検査(平成24年1月25日)	消化器がん検診とHelicobacter pylori抗体検出率	馬庭恭平	検査部
感染症学雑誌(平成24年3月20日)	MRSAの院内伝播制御に有用なPOT法を用いた分子疫学解析	森山英彦	検査部
Indian J Pediatr(平成23年6月)	Hyperekplexia masquerading as epilepsy	Taketani T	輸血部
日本臨床(平成23年11月22日)	間葉系幹細胞研究(臨床研究からみた同種間葉系幹細胞移植)	竹谷 健	輸血部
小児科臨床(平成23年12月20日)	遺伝子解析により診断が確定した驚愕病の1例	竹谷 健	輸血部
Journal of KIEES (Korean Institute of Electromagnetic Engineering and Science)(Dec. 2011)	A safe Reliable Method for Installing Wireless LAN into a Hospital,	Hanada E., Kudou T.	医療情報部
日本遠隔医療学会雑誌(2011年9月)	遠隔医療システムによる地域医療再生への寄与	花田英輔	医療情報部
薬事新報 2683号(2011年5月)	集中治療部常駐薬剤師による薬学的管理とその評価	石原慎之 他	薬剤部
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2011 52号(2011年11月)	Topical dexamethasone-cyclodextrin microparticle eye drops for diabetic macular edema	Masaki Tanito 他	薬剤部
日本医療・病院管理学会誌	インシデントレポート・医事管理データによる転倒・転落に起因する追加的医療費算出の試み	廣瀬昌博	病院医学教育センター

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 井川 幹夫	
管理担当者氏名	検査部長 長井 篤 手術部長 佐倉 伸一 看護部長 秦 恵美子 医療サービス課長 山崎 幸司	放射線部長 北垣 一 薬剤部長 直良 浩司 総務課長 林 勝幸

管 理 方 法		保 管 地 借	診 療 に 関 す る 諸 記 録
カルテ等病歴資料は、入院・外来別に 1 患者 1 ファイル方式で管理し、エックス線写真は放射線部で患者毎に管理を行っている。なお、平成18年9月の電子カルテ導入後、電子化されたものは医療情報システムのデータベース上で、患者 ID をキーにして管理されている。			病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書
医療サービス課 手術部 薬剤部 検査部 放射線部 看護部			
従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課		病院の管理及び運営に関する諸記録
高度の医療の提供の実績	医学部医療サービス課		
高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課		
高度の医療の研修の実績	医学部総務課		
閲覧実績	医学部医療サービス課		
紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医療サービス課		
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医療サービス課及び薬剤部		
第規一則号第一十一条の第一項各の号状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医学部医療サービス課	
に一掲条げのる十一体制第一制第一確項保各の号状況	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課	
の二十九条の二十	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医学部医療サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医学部医療サービス課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医学部医療サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部医療サービス課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医学部医療サービス課	

三 第 一 項	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談 に適切に応じる体制の 確保状況	医学部医療サービ ス課
------------------	--	----------------

病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	保管場所	分類方法
		院内感染のための指 針の策定状況	医学部医療サービ ス課
		院内感染対策のため の委員会の開催状況	医学部医療サービ ス課
		従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況	医学部医療サービ ス課
		感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善の方策の実施状況	医学部医療サービ ス課
		医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況	医学部医療サービ ス課
		従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況	医学部医療サービ ス課及び薬剤部
		医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況	医学部医療サービ ス課及び薬剤部
		医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善の方策の実施状況	医学部医療サービ ス課及び薬剤部
		医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況	医学部医療サービ ス課
		従業者に対する医療 機器の安全使用のため の研修の実施状況	医学部医療サービ ス課及びMEセン ター
		医療機器の保守点検 に関する計画の策定及 び保守点検の実施状況	医学部医療サービ ス課及びMEセン ター
		医療機器の安全使用 のために必要な情報 の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善の方策の実 施状況	医学部医療サービ ス課及びMEセン ター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長	藤原 楠生
閲覧担当者氏名	医療サービス課長	山崎 幸司
閲覧の求めに応じる場所	附属病院2階	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	71.4 %	算 定 期 間	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日
算	A : 紹 介 患 者 の 数		8, 679人
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6, 887人
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		1, 446人
拠	D : 初 診 の 患 者 の 数		16, 923人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①院内感染対策のための指針の策定状況	○有□無
<p>・指針の主な内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 院内感染対策に関する基本的考え方 2 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本方針 3 院内感染のための従業者に対する研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6 患者等に対する当該方針の閲覧に関する基本方針 7 院内における感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染対策室の運営、業務の企画に関すること 2 感染の予防に関すること 3 予防対策実施の指導に関すること 4 感染予防の教育に関すること 5 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること 6 その他感染対策に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回
<p>・研修の主な内容:(全体研修)</p> <p>「感染対策について ー当院における標準予防策および感染経路別予防策についてー」新規採用者の「医療安全及び感染対策」研修会</p> <p>「院内感染マニュアル(第3版)の周知」</p> <p>「感染対策について ー当院における標準予防策および感染経路別予防策についてー」中途採用者の「医療安全及び感染対策」研修会(2回)</p> <p>「手術時手洗いの現状と新しい手術時手洗い方法の有用性」</p> <p>「血液体液曝露の現状と防止対策について」・「針刺し事故後の肝炎対策に関して」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備(○有・△無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ・各部署をラウンドし状況を確認の上、情報収集し指導する。 ・週1回開催する週ミーティング時、感染情報Webを展開して感染症状況、抗菌薬使用状況を分析し、指導する。 ・必要時に関係者を招集し、会議を開催、発生の原因を分析協議し、改善策の立案及び実施の指導ならびに他部署への周知を図る。 	

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： はじめに 「医療安全文化を維持向上させるために」 1 安全管理に関する基本指針 　島根大学医学部附属病院における安全管理に関する基本方針 2 医療事故防止の基本 3 医療事故防止に関する基本用語 4 インフォームド・コンセント 5 安全管理体制に関する組織 6 医療事故を未然に防止するための体制 7 医療事故等が発生した場合（緊急時）の対応 8 医療従事者と患者との間の情報の共有 9 患者からの相談への対応 10 職員研修 11 医療安全推進のために必要なその他の事柄 12 関連マニュアル等	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">1 医療安全管理委員会　　原則／毎月・1回　　(平成23年度実績　12回)2 リスクマネジヤー会議　　原則／毎月・1回　　(平成23年度実績　12回) <ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容： 1 島根大学医学部附属病院医療安全管理委員会規則 　1) 医療事故等の防止対策に関すること 　2) 医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること 　3) 医療事故に係る患者及びその家族への対応に関すること 　4) 安全管理のための職員の教育・研修に関すること 　5) 医薬品の安全使用に関すること	

- 6) 医療機器の安全使用に関すること
 - 7) その他、医療安全管理に関すること
- 2 島根大学医学部附属病院リスクマネジャーに関する要項
- 1) 安全確保のための点検の実施に関すること
 - 2) 当該診療科等の構成員に対し、安全確保のための指導の実施に関すること
 - 3) リスクマネジャー会議への参画に関すること
 - 4) その他、医療事故防止に関すること

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
--------------------------	-------

- ・ 研修の主な内容 :
- 1 内服薬処方せん記載に関する安全対策
 - 2 新AEDの使用手順について
 - 3 対話による苦情・紛争対応～ADRと院内メディエーション～
 - 4 MR I 検査における安全管理
 - 5 テルモシリンジポンプTE-351
テルモ輸液ポンプTE-261
経腸栄養ポンプFE201 の研修会
 - 6 カテ室におけるPCPSの使用例について
除細動器について考える
 - 7 透析器具の誤装着ミスを考える
島根大学における腎臓移植について
- ※ その他の医療機器安全使用研修及び新規・中途採用者の医療安全研修外

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) (無)
 - ・ その他の改善の方策の主な内容 :
- 1 IVH挿入マニュアルの作成
関連するマニュアルを遵守し、感染、患者誤認、薬剤間違いなどがないように安全に留意して管理するよう、マニュアルを作成し、周知した。医療安全管理委員会のホームページに掲載している。
 - 2 転倒予防シューズを売店にて販売となる。

3 救急カート物品の整備

救急カートの統一について、WGを立ち上げ、取り組んだ。

病棟移転に合わせ、どこでも、誰でも統一した救急措置ができるよう、院内の救急カートの薬品・物品を統一した。

4 輸液ポンプの使用に関する取り決め

新規輸液ポンプの購入に伴い、流量制御タイプと滴下制御タイプが混在することになるため、運用について取り決めた。

前者はICU, MCU, HCUで、後者はそれ以外の部署で使用することとした。

5 フェルカーベッドからの転落防止対策

フェルカーベッドからの転落事例があったため、フェルカーベッドのサイドレールスペーサーをC病棟に配布した。平成24年3月にはC病棟6階フェルカーベッド19台をパラマウントベッドに変更するよう要望した。

6 輸液ラインの検討WGを開催

新しい輸液ポンプに合わせた輸液ルートは一体化されたルートではないため、6種類の延長チューブなどを接続して使用しており、作業効率など安全、感染面での問題があり、輸液セットの標準化・一体化に向けて取り組んだ。

末梢・中心静脈両方とも、輸液ポンプを使用する場合は、テルモ輸液セットにJMS閉鎖式ルートをセットして使用する。輸液ポンプを使用しない場合は、JMS閉鎖式ルートを使用する方向で検討中である。

7 インスリン適正使用について 指示書説明

インスリンに関するインシデントがあることから、インスリン指示書の適正な使用について内分泌代謝内科の医師からリスクマネジャー会議で説明があった。

インスリン適正使用についての注意点をまとめたものを各部署に配布し、活用することとなった。

8 配薬車の統一

与薬に関してのインシデント事例も多く、A.患者別、B.患者別（1回分ずつ入れる）、C.部屋別と3種類の与薬車があった。病棟移転に合わせ、与薬車を患者別（Aタイプ）に統一した。また、業務委員会において分包方法の統一も行った。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無

(7) 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（ 1 ）名 兼任（ 7 ）名 ・ 活動の主な内容： <p>1 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療に係る安全管理のための委員会の事務に関すること</p> <p>2 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと</p> <p>3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと</p> <p>4 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと</p> <p>5 医療安全管理に係る連絡調整に関すること</p> <p>6 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること</p> <p>7 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること</p> <p>8 安全管理に関する教育・研修に関すること</p> <p>9 その他医療安全対策の推進に関すること</p>	

(8) 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
--	-----

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 29回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： (院内全体の研修会)<ol style="list-style-type: none">医員研修会「処方時の留意点、副作用報告について」医療安全のための研修会「内服薬処方せん記載に関する安全対策」医療安全のための研修会「新AEDの使用手順について」臨床研究に係る特別講演会「研究倫理の基礎」治験講演会「我が国における臨床試験の展開」 (薬剤部内の研修会) 製品説明会 24回	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 <input checked="" type="radio"/> (有) <input type="radio"/> 無業務の主な内容<ol style="list-style-type: none">医薬品の採用医薬品の購入調剤室における医薬品の管理病棟・各部門への医薬品の供給外来患者への医薬品使用病棟における医薬品の管理入院患者への医薬品の使用医薬品情報の収集・管理・提供手術・麻酔部門集中治療部門輸血・血液管理部門血液透析部門	

13 画像診断部門、臨床検査部門

14 歯科領域

15 他施設との連携

16 事故発生時の対応

17 教育・研修

- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)

- その他の改善のための方策の主な内容:

(情報収集の方法)

1 新規採用時: 新規採用薬については、医薬品添付文書・インタビューホームページ・製品概要・各種パンフレット・関連文献(集)等の収集。

また、医薬品添付文書・インタビューホームページ等が更新された場合は、最新情報を収集・更新している。

2 隨時: 緊急安全性情報(厚生労働省「医薬品医療機器等安全性情報」)の収集と院内提供をしている。

(情報の周知方法)

1 緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、D S U等は各診療科、中央・特殊診療施設、看護部等の院内関係部署へ配布する。

薬事専門部会結果(薬剤の採用及び取り消し等)については、院内関係部署へ文書にて情報提供し、さらに新規採用薬については、効能・効果、用法・用量、副作用などの情報も一緒に提供している。

上記の緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、薬事専門部会結果は院内Web(薬剤部ホームページ)でも情報提供を行っている。

2 (財)日本医療機能評価機構からの共有すべき情報(医薬品関係)をリスクマネジャー会議で周知している。

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) • 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容 :	
<ol style="list-style-type: none">1 テルモシリソポンポンプ T E - 3 5 1 テルモ輸液ポンプ T E - 2 6 1 経腸栄養ポンプ F E 2 0 1 の研修会 (実技編)2 人工呼吸器サーボ S の研修会 (実技編)3 人工呼吸器 V - 6 0 の研修会 (実技編)4 診療用高エネルギー X 線発生装置の安全使用5 放射線治療装置の品質管理 一手法および人員について一6 保育器のトラブルシューティングについて7 カテ室における P C P S の使用例について 除細動器について考える8 透析機器の誤装着ミスを考える 島根大学における腎臓移植について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 ((有) • 無)保守点検の主な内容 :<ol style="list-style-type: none">1 始業点検, 終業点検2 外部委託によるオーバーホール, 院内でのオーバーホール3 外部委託による定期保守・緊急保守 (故障・修理)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	

・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)

・ その他の改善の方策の主な内容 :

(情報収集の方法)

- 1 平成19年3月30日医政指発第0330001号第4.3に基づき、製造販売業者等から不具合が生じた機器に関する情報を収集している。
- 2 臨床工学技士の研修会及び講習会参加により種々情報を収集している。
- 3 島根県出雲保健所から、人工呼吸器の医療安全対策に係る情報を収集している。
- 4 インターネットによる医療事故情報にて情報を収集している。

(情報の周知方法)

- 1 上記により収集した情報を医療機器安全管理責任者から病院長に報告をすると共に、該当設置部署、会計課及びMEセンターに文書及び口頭にて周知している。
- 2 医療機器の安全使用のための研修会にて情報の周知を行っている。
- 3 医療機器管理システムによる情報発信 (予定)